

にんげん こえ
人間の声がみんなちがうのはなぜ

こえ せいたい だ
声は声帯で出している

こえは、のどのおくにあるせいたいというまくいきを、息でふるわせてだ出しています。このせいたいう
まれた音が、のどからくちはなとおそとでへんがこえで
出てくるのです。

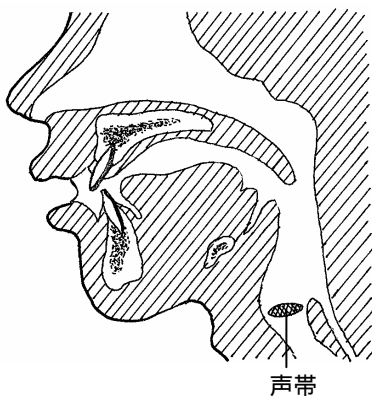
せたいは2まいのまくのようなもので、内部にはないがきんにくはいくうきとお
ひらき、
こえだ
声を出すときにはぴったりと閉じて、そのほそいまからくうきで
おとで
音が出る
のです。

せいたい おお かたち ひと
声帯などの大きさや形は人によってちがう

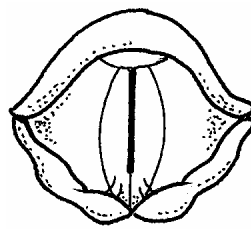
せいたいで おと くち はな かたち からだぜんたい おお か
声帯から出る音は、のど・口・鼻の形や、体全体の大きさによって変わってきます。

たとえば、似たようながっきでも、そのおおきさやこまかなかち
すこ
で
おと
ちがいます。声も、これと同じことなのです。

にんげん ひとり からだ おお きさ かたち こえ だ せいたい かたち
人間は、一人ひとり、体の大きさや形がちがいますから、声を出すための、声帯の形や
なが
長さはちがいますし、せたいでできたこえをひびかせる、のどのおくのかたち
こえで
くち はな おお かたち
口や鼻の大きさや形が、みんなちがってきます。そのため、ひとりひとりのこえ
ひとりのこえ
がちがってくるのです。(監修・保志 宏)

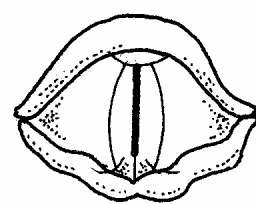


男の人の声帯



(長い)

女の人の声帯



(みじかい)

